

若杉山スギ 希少個体群保護林

調査間隔 (案)

10年

【資料5 - 2】

面積:3.74 ha

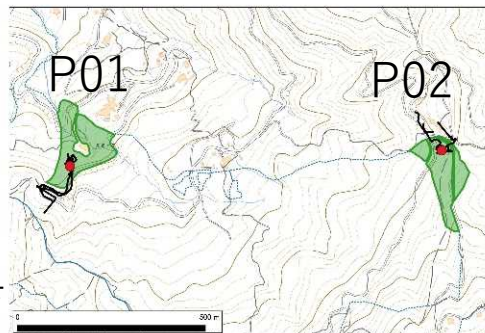
福岡森林管理署

保護対象種

スギ

概況

- ・シカの痕跡なし。下層植生及び階層構造に変化なし。
- ・胸高直径100cm程度のスギが多数生育しており、亜高木層にイヌガシ、シロダモ、タブノキ等が優占している。



過年度調査との比較：

H25.11

→

R2.10



北



北

P01



西

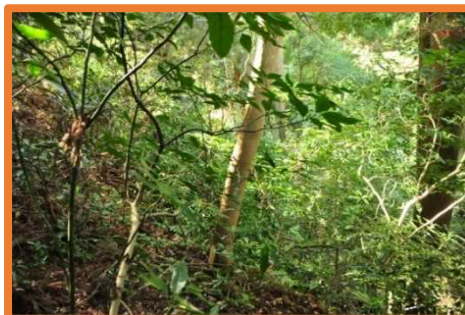


西

P02



下層植生にアオキの被度が大きい



とうせんざん

唐泉山スタジイ 遺伝資源希少個体群保護林

調査間隔 (案)

10年

面積:9.87 ha

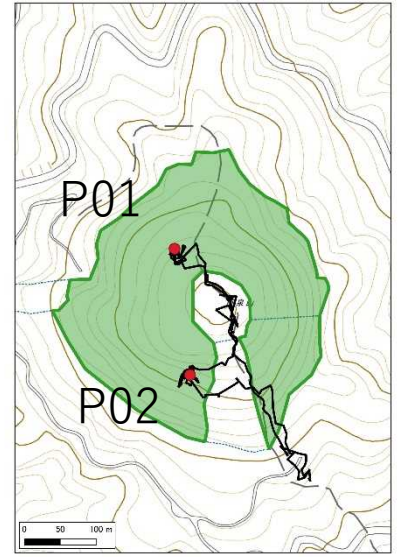
佐賀森林管理署

保護対象種

スタジイ

概況

- ・シカの痕跡なし。下層植生及び階層構造に変化なし。
- ・大部分がスタジイ、ツブラジイが混生する。スタジイの萌芽更新が確認された。

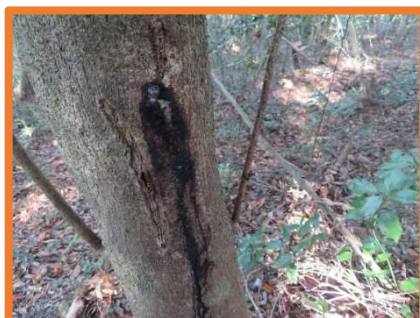


過年度調査との比較：

H26.9

→

R2.10



カシノナガキクイムシによる
スタジイのせん孔跡



スタジイの
萌芽更新

背振山ブナ等 希少個体群保護林

調査間隔 (案)

10年

面積:4.58 ha

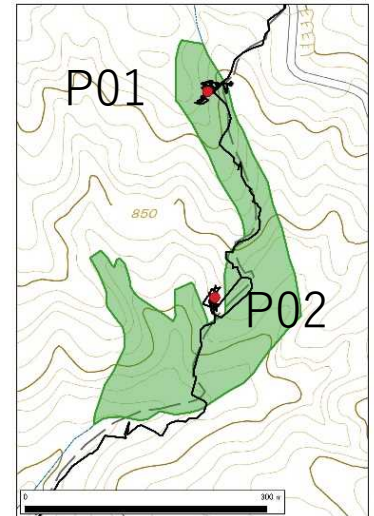
佐賀森林管理署

保護対象種

ブナ、アカガシ、カエデ等

概況

- ・シカの痕跡なし。下層植生及び階層構造に変化なし。
- ・スギ、ブナ、シデ、カエデ、アカガシ等の天然針広混交林で風雪害による幹と見られる幹折れした立木有り。



過年度調査との比較：

H26.9

→

R2.10



下層植生にササ、アオキ等が見られる。



くせんぶ

九千部ブナ等 希少個体群保護林

調査間隔 (案)

5年

面積:86.74 ha

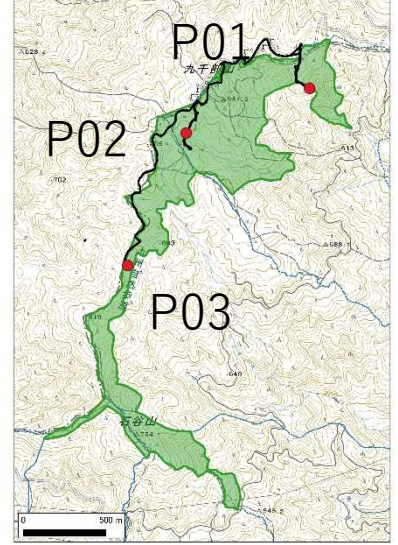
佐賀森林管理署

保護対象種

ブナ、アカガシ等

概況

- ・調査ルート上にシカの足跡あり。下層植生及び階層構造に変化なし。
- ・ブナの大木が散在し、林内にはミヤマシキミーアカガシ群集等の自然植生が生育。



過年度調査との比較： H26.11 → R2.10



調査ルート上で
見つけたシカの
足跡



下層植生に
アオキ等の
幼木が確認

かやぜ

萱瀬スギ

希少個体群保護林

調査間隔 (案)

10年

面積:3.73 ha

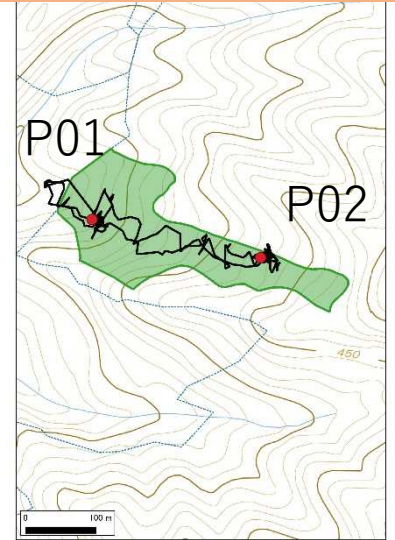
長崎森林管理署

保護対象種

スギ

概況

- ・シカの痕跡なし。下層植生及び階層構造に変化なし。
- ・スギが優先する林分であり、亜高木層にタブノキ、ウラジロガシ等が優占している。

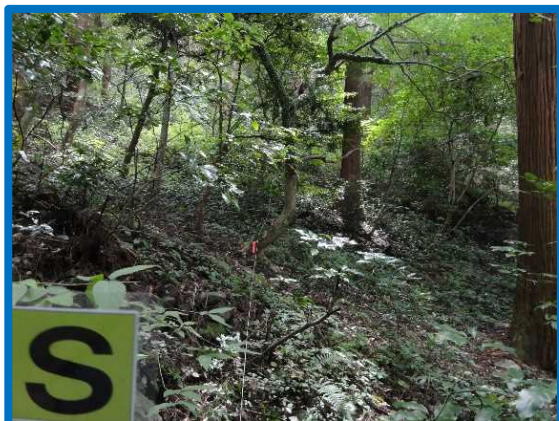


過年度調査との比較：

H26.9

→

R2.10



下層植生にアオキ等の幼木が確認された。



かやぜ

萱瀬ヒバ

希少個体群保護林

調査間隔 (案)

10年

面積:0.30 ha

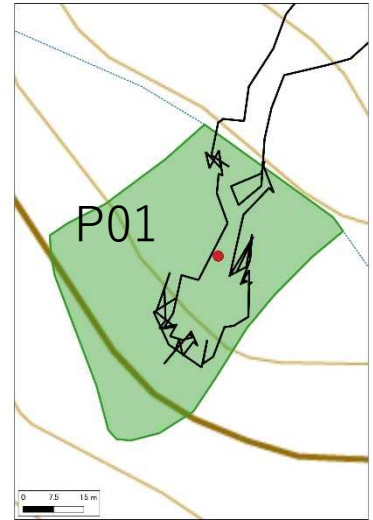
長崎森林管理署

保護対象種

ヒバ

概況

- ・シカの痕跡なし。下層植生及び階層構造に変化なし。
- ・ヒバの本数は少なくスギ、ヒノキイヌマキが混成。
- ・1～2年前のヒバ風倒木あり。



過年度調査との比較：

H26.9

→

R2.10



下層植生にアオキ
ホソバタブ等あり



すいげん

水源スギ等 希少個体群保護林

調査間隔 (案)

10年

面積:1.11 ha

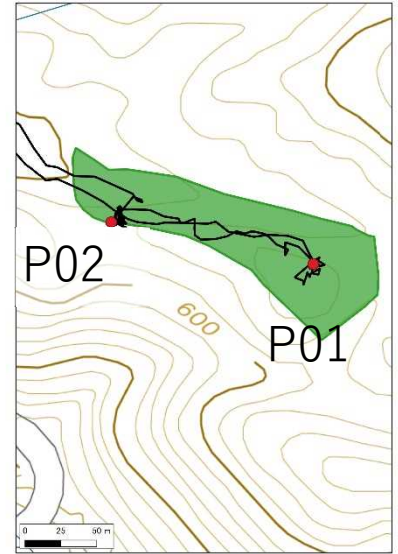
熊本森林管理署

保護対象種

スギ、ヒノキ

概況

- ・シカの痕跡なし。下層植生及び階層構造に変化なし。
- ・スギ、ヒノキ老齢林が林立した林分で、亜高木層にオオモミジ、カゴノキ等が見られる。



過年度調査との比較：

H25.9

→

R2.10



東



P01



北



P02



下層植生にアオキ等が見られる。



金峰山スギ等 希少個体群保護林

調査間隔 (案)

10年

面積:2.38 ha

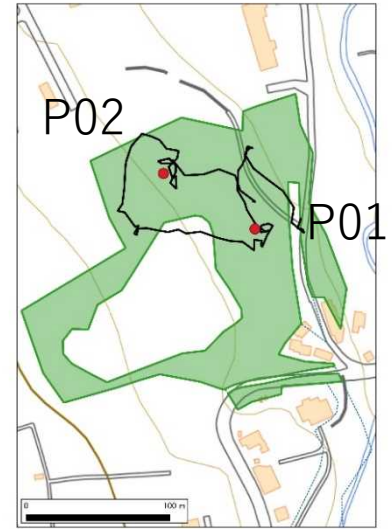
熊本森林管理署

保護対象種

スギ、ヒノキ、サワラ

概況

- ・シカの痕跡なし。下層植生及び階層構造に変化なし。
- ・スギ、ヒノキ、サワラが林立する林分。亜高木にアラカシ、タブノキ、オガタマノキ、クロキが混成する。



過年度調査との比較： H25.9 → R2.10



下層植生に
アオキ等が
見られる。



どうかわら

洞河原タブノキ等 希少個体群保護林

調査間隔 (案)

10年

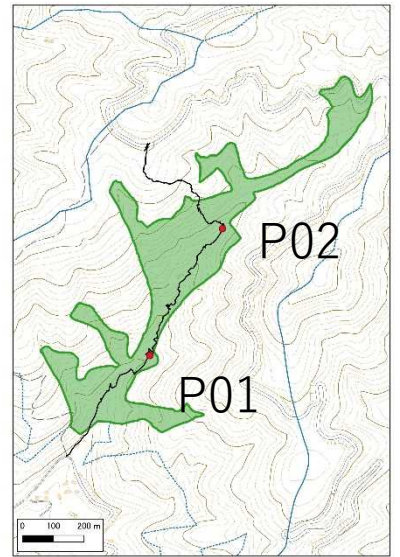
面積:20.82 ha
大隅森林管理署

保護対象種

タブノキ、オオタニワタリ

概況

- ・シカの食痕、足跡有り。
- ・タブノキの大径木等が生育し、ヘツカランやオオタニワタリ等の希少な着生植物が確認された。



過年度調査との比較：

H28.9

→

R2.10



ゴマフボクトウ蛾幼虫 9
の穿孔被害あり

シカの食痕、足跡

たかの

高野スダジイ等 希少個体群保護林

調査間隔 (案)

10年

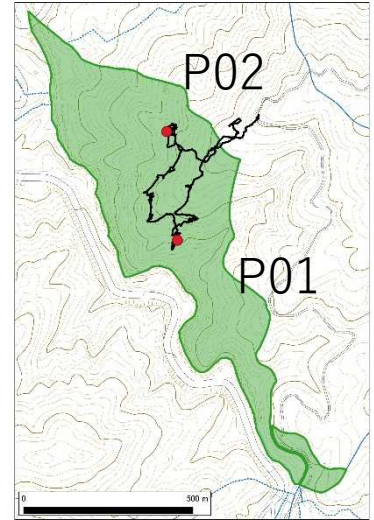
面積:33.92 ha
大隅森林管理署

保護対象種

スダジイ、タブノキ、イスノキ等

概況

- ・シカ痕跡なし。下層植生及び階層構造に変化なし。
- ・大部分がスダジイ、タブノキ、イスノキ等の巨木が生育する自然性の高い植物群落。



過年度調査との比較： H28.9 → R2.10



シイ・カシ類にカシノナガキクイムシによる被害が見られる。